

京（みやこ）の水ビジョン

(2008-2017)

京都市上下水道事業 中期経営プラン

(2008-2012)

概要版



2007（平成19）年12月

 京都市上下水道局

『京（みやこ）の水ビジョン』の策定に当たって

京都市上下水道局では、これまでから、市民の皆さまに安全・安心で良質な水を安定的にお届けする水道事業、大雨による浸水からまちを守るとともに、快適で衛生的な生活を支え、水環境の保全に大切な役割を担う下水道事業に取り組んできました。

しかしながら、京都市は、他都市に比べても著しい水需要の減少により、非常に厳しい経営環境にあります。社会全体が「節水型」へと構造転換した中で、老朽化した施設の大規模な更新時期の到来や、年々厳しくなる水質基準、地球温暖化をはじめとする深刻な環境問題、相次ぐ大規模な地震や風水害の到来、困難になる知識・技術の継承問題などへの対応といった、さまざまな課題に直面しています。

私たちは、こうした状況の下、25年間の長期構想である水道・下水道のマスタープランを踏まえ、事業の基本理念や今後10年間に上下水道事業が取り組むべき課題や目標をまとめた『京（みやこ）の水ビジョン』を策定しました。

今後は、このビジョンの実現に向け、前期5箇年の実施計画として策定した「京都市上下水道事業 中期経営プラン（2008-2012）」に基づき、中長期的な視点に立って、事業が抱えるさまざまな課題を克服し、市民の皆さまの暮らしを守るという上下水道局に課せられた社会的な使命を果たしていきます。さらに、琵琶湖・淀川水系の中流域に位置する京都のまちの地域特性を踏まえて、上下水道事業を一連の事業としてとらえ、環境を基軸とした一体的な運営に努めることにより、社会に貢献していきたいと考えています。

京都市では、水道創設100年、下水道創設80年を間もなく迎えます。この機に、次世代のあるべき上下水道施設への再構築を図るとともに、市民サービスの質的向上に重点を置いた新たな事業を展開していくことで、皆さまの暮らしに安らぎと潤いをお届けしたいと考えています。

平成19年12月

京都市公営企業管理者
上下水道局長

西林誠一郎

この冊子の表紙及び裏表紙で使用した意匠は、京都市産業観光局産業技術研究所工業技術センターデザイン開発チームにご協力いただいたもので、尾形光琳の水をモチーフにした波紋を元にデザインしており、表紙の写真は、琵琶湖疏水（山科区安朱）の写真を配しています。